

2020年度事業報告書

公益財団法人 小野医学研究財団

当財団は1988年11月21日に厚生大臣の認可を受け設立し、2011年3月28日付、内閣府より設立の認可を受けて、設立登記日：2011年4月1日、公益財団法人へ移行し、定款に定められた事業を開始した。2020年4月1日より2021年3月31日までの2020年度の事業活動として、定款第3条の脂質代謝異常の分野に関する研究助成、褒章を行うほか各種事業を推進し、この分野の治療、研究の振興を図り、もって国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とした第4条の事業のうち、下記の事業を実施した。

2020年度事業

2019年11月27日に開催された第28回理事会において、2020年度の事業が決定され、その事業計画に基づき次の通り実施された。

1. 研究助成事業・・・応募期間：2020年6月1日～7月31日

研究助成および研究奨励助成（2020年6月1日現在満40歳以下の研究者）については、医学・生命科学系の研究機関（大学・研究所等）298軒、および当財団理事、評議員に推薦を依頼し、また募集要項を財団ホームページに掲載した。更に広く募集を行うために、日本脂質生化学会ホームページに掲載するとともに会員一斉メールを行った他、日本内分泌学会メールマガジンに配信、各ホームページ[JST 広報ポータル部サイエンスポータル、大学病院医療情報ネットワーク（UMIN）、日本炎症・再生医学会、日本細胞生物学会、日本神経学会、日本生化学会、日本生理学会、日本糖尿病学会、日本分子生物学会、日本免疫学会、日本薬学会、日本薬理学会]、および各6月発刊号（公益法人協会、実験医学、日本循環器学会会告、日本動脈硬化学会学会誌 News & Scope）に掲載して、候補者の受付を行った。応募課題については、当財団の選考委員（8名）で審査した後、選考委員会で選出、理事会で決定、承認を得て助成者を決定した。

2020年12月21日ニュースリリースするとともに当財団ホームページに掲載した。

- (1) 第33回研究助成 応募件数 70件、助成件数 12件、採択率約 17.1%
- (2) 第29回研究奨励助成 応募件数 61件、助成件数 16件、採択率約 26.2%

研究助成・研究奨励助成の推移【過去10年間】

応募件数	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
研究助成	54	60	64	73	76	94	79	86	74	70
研究奨励助成	56	46	62	83	53	84	67	57	49	61
合計	110	106	126	156	129	178	146	143	123	131

助成件数	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
研究助成	7	10	10	10	10	12	12	12	12	12
研究奨励助成	10	10	10	20	10	16	16	16	16	16
合計	17	20	20	30	20	28	28	28	28	28

採択率	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
研究助成	13.0%	16.7%	15.6%	13.7%	13.2%	12.8%	15.2%	14.0%	16.2%	17.1%
研究奨励助成	17.9%	21.7%	16.1%	24.1%	18.9%	19.0%	23.9%	28.1%	32.7%	26.2%
合計	15.5%	18.9%	15.9%	19.2%	15.5%	15.7%	19.2%	19.6%	22.7%	21.4%

2. 褒章事業(早石修記念賞)・・・推薦期間：2020年6月1日～8月31日

早石修記念賞については、当財団の指名する下記14学会および当財団理事、評議員、歴代受賞者に推薦を依頼した。

日本炎症・再生医学会、日本細胞生物学会、日本脂質生化学会、日本循環器学会

日本神経学会、日本神経精神薬理学会、日本生化学会、日本生理学会、日本糖尿病学会、

日本動脈硬化学会、日本分子生物学会、日本免疫学会、日本薬学会、日本薬理学会

推薦書については、当財団の早石修記念賞選考委員(常任委員3名、外部委員2名、歴代受賞者2名)で審査した後、選考委員会で選出、理事会の承認を得て受賞者を決定した。

第4回早石修記念賞

《受賞者》 松澤 佑次博士

《所属機関および役職》 一般財団法人 住友病院
名誉院長・最高顧問

《受賞対象となった研究業績》

「メタボリックシンドローム概念の確立とアディポネクチンの発見による分子基盤の解明」

3. 第31回研究成果発表会および第3回早石修記念賞贈呈式・記念講演会

2020年6月13日、千里ライフサイエンスセンターにおいて予定していた第31回(2018年度助成者)研究成果発表会および第3回早石修記念賞贈呈式・記念講演会は、新型コロナウイルス感染拡大を防ぐために中止した。

4. 研究成果概要のデータベースへ登録

2018年度助成成果報告を助成財団センターを通じて国立情報学研究所のデータベースに登録し公開した。(6月：当財団ホームページからも閲覧可能)

第 33 回（2020 年度）研究助成対象者 12 名

助成額：1 件につき 200 万円

（五十音順）（敬称略）

氏 名	役 職	施 設 名 科 名	課 題 名
あべ かずひろ 阿部 一啓	准教授	東海国立大学機構名古屋大学 細胞生理学研究センター	『細胞死を司るポンプ』脂質フリッパー ゼのリン脂質認識と輸送機構
いのうえ あすか 井上 飛鳥	准教授	東北大学 大学院薬学研究科 分子細胞生化学分野	脂質メディエーターを模倣したシグナル 導入による脂肪組織の代謝改善
しらかわ りゅうたろう 白川 龍太郎	助教	東北大学加齢医学研究所 基礎加齢研究分野	新規プレニル転移酵素 GGT3 による細胞 内分解経路の制御機構
すずき あきら 鈴木 聡	教授	神戸大学大学院医学研究科 分子細胞生物学分野	ゲノムワイド sgRNA ライブラリースクリ ーニングによる PTEN 発現抑制分子の探索 と長寿薬の開発
とよはら たかふみ 豊原 敬文	特任 助教	東北大学大学院医工学研究科 分子病態医工学分野	小胞体リパーゼに着目した新たな糖尿病 性腎症治療の開発
ふじもと とよし 藤本 豊士	特任 教授	順天堂大学医学研究科 老人性疾患病態・治療研究センター 分子細胞学分野	癌細胞における核内脂肪滴の機能的意義 の解明
ほんだ あつこ 本多 敦子	特任 助教	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 分子細胞機能学分野	神経成長円錐における極長鎖脂肪酸産生 の生理的および病態的意義の解明
みずぐち ひろゆき 水口 裕之	教授	大阪大学大学院薬学研究科 分子生物学分野	患者由来 iPS 細胞を用いた常染色体劣性 遺伝性高コレステロール血症の病態再現 と治療薬探索
みなみの とおる 南野 徹	教授	順天堂大学大学院医学研究科 循環器内科	脂肪-心臓連関による心不全発症機構の 解明
みやもと たつお 宮本 達雄	准教授	広島大学 原爆放射線医科学研究所 放射線ゲノム疾患研究分野	繊毛コレステロール輸送におけるミトコ ンドリアの生理と病理
やまさき しょう 山崎 晶	教授	大阪大学微生物病研究所 分子免疫制御分野	免疫賦活能を有する内因性脂質抗原の探 索
やまじ としゆき 山地 俊之	室長	国立感染症研究所 細胞化学部	ゲノムワイドな遺伝子スクリーニングに よるスフィンゴ脂質サルベージ経路の包 括的解明

第 29 回（2020 年度）研究奨励助成対象者 16 名

助成額：1 件につき 100 万円

（五十音順）（敬称略）

氏名	役職	施設名 科名	課題名
いそべ ようすけ 磯部 洋輔	研究員	理化学研究所生命医科学研究センター メタボローム研究チーム	脂肪酸代謝物による炎症収束性マクロファージの制御機構の解明
おおの ひろし 大野 博	研究員	筑波大学 医学医療系 内分泌代謝・糖尿病内科	スフィンゴ脂質の脂肪酸組成制御による神経幹細胞の自己複製能制御機構解明
かのう ひろたか 狩野 裕考	助教	東北医科薬科大学・薬学部／分子生体膜研究所・機能病態分子学教室	肥満に伴うスフィンゴ糖脂質発現異常を介した慢性炎症メカニズムの解明
かわい たかふみ 河合 喬文	助教	大阪大学大学院 医学系研究科 統合生理学教室	精子生理機能に重要なイノシトールリン脂質の極性分布形成メカニズム
しのはら みつる 篠原 充	室長	国立長寿医療研究センター 分子基盤研究部 標的治療薬開発室	脂質輸送蛋白 APOE を標的とした健康長寿実現法の開発
すぎもと こうたろう 杉本 幸太郎	講師	福島県立医科大学医学部 基礎病理学講座	レチノイン酸シグナル調節因子の網羅的同定
すみだ はやかず 住田 隼一	講師	東京大学 大学院医学系研究科 皮膚科	皮膚疾患に関わる新規脂質代謝酵素の機能解析
せんじゅう ようすけ 千住 洋介	助教	岡山大学 異分野基礎科学研究所 進化・構造生物学研究分野	脂質結合タンパク質に着目した上皮間葉移行の新規分子機構の解明
ただ たけだ 武田 行正	助教	京都府立医科大学大学院医学研究科 細胞再生医学	新規ヒトベージュ細胞モデルによる褐色化因子の同定
たばた けいすけ 田端 桂介	助教	大阪大学大学院生命機能研究科 細胞内膜動態研究室	脂質代謝調節に重要な Rubicon によるオートファジー制御機構の解明
でやま さとし 出山 諭司	助教	金沢大学医薬保健研究域 薬学系薬理学研究室	抑うつ状態からの自発的治癒における生理活性脂質受容体 GPR18 シグナルの役割
てらたに としあき 寺谷 俊昭	特任講師	慶應義塾大学医学部内科学教室 (消化器)	肥満因子によって活性化される肝臓内感覚神経が臓器相関に果たす役割について
ながお もとつぐ 長尾 元嗣	講師	日本医科大学大学院 医学研究科 内分泌糖尿病代謝内科学分野	β 細胞の脂肪酸動態を標的とした 2 型糖尿病治療の開発
なんぼ まさかず 南保 正和	特任講師	名古屋大学 トランスフォーマティブ生命分子研究所	甲状腺ホルモン誘導体を利用した脂質代謝疾患治療薬の創製
わたなべ やすのり 渡邊 康紀	講師	山形大学理学部理学科生物学分野	新規ミトコンドリア病治療薬開発を指向したリン脂質合成酵素 PISD の成熟化機構解明

2020年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条代項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2021年6月

公益財団法人 小野医学研究財団